

平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社
代 表 者 代表取締役社長 村上 義憲
(コード 2156 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 総務局次長 西分 太郎
(電話 087-825-1156)

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

【平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正】

(1) 平成 30 年 3 月期通期 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) |
|-----------------------------|-----------|------------|------------|
| 前回予想 (A) | 9, 500 | 200 | 220 |
| 今回予想 (B) | 8, 817 | 79 | 97 |
| 増減額 (B-A) | △682 | △120 | △122 |
| 増減率 (%) | △7. 2 | △60. 0 | △55. 8 |
| (ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期) | 9, 302 | 168 | 184 |

(2) 修正理由

当社グループの業績につきましては、例年通り、各企業の事業年度末のプロモーション展開や、受託案件などの約定に基づく収益を連結会計年度末に見込んでおりましたが、生活者の要求するサービス水準の高まりと嗜好の多様化が、お客様のマーケティング戦略を変化させ、イベント規模の縮小、広告出稿媒体の見直し、広告予算の集約などとして表面化し、当社グループの売上高は 8,817 百万円 (当初予想比 7.2%減) となる見通しです。

また、利益面につきましては、販売費及び一般管理費が前年を下回る水準となる見通しですが、前述の内容が利益圧迫要因となり、営業利益は 79 百万円 (当初予想比 60.0%減)、経常利益は 97 百万円 (当初予想比 55.8%減) となる見通しです。

※上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上